



皆様こんにちは。この記事を書いているのが11月下旬なのですが、日中はこの時期とは思えないほどの暖かさ(暑いくらい?)ですね。かと思うと朝・晩は寒く寒暖の差で体を壊しやすい季節かと思えます。どうぞ、体調管理にはお気を付け下さい。

さて、ふらっと活動報告ですが、前号でお伝えした通り、10月には六会ふれあい祭りがありました。今年は、感覚の特異性の体験コーナーやヘルプカードの普及啓発を行いました。80名弱の方に足を運んでいただきました。



11月には遊行寺でお祭りがあり、そちらでもヘルプカードの普及啓発を行っています。また、藤沢育成会の作業品を販売いたしまして、47名の方に足をお運び頂きました。この場をお借りしてお礼させていただければと思います。お忙しい中、誠にありがとうございました。また、このふらっと通信にお目を通して下さっている方々もいつもありがとうございます。

お祭り関連ではもう一つ。私たち、ふらっとは湘南ゆうき村という事業の一角にあるのですが、11月18日には湘南ゆうき村の収穫祭がありました。町内会の皆様や高校生にも参加していただき、とても盛り上がっていました。藤沢育成会のホームページでは写真付きでの様子が記事にされていますので、良かったらぜひともご覧ください。

今後の活動予定としては、1月にはふらっと相談員の全体研修会、2月には地区のケアマネを対象とした勉強会を考えております。また、活動報告をさせていただければと思います。



法人 HP の QR コード

以前も書かせていただきましたが、お祭りや行事などを通して皆様にふらっとという存在を知って頂けるとありがたいです。今後ともよろしくお願い致します。

インフルエンザ、ノロウイルスなど感染症が怖い季節になってきました。うがい・手洗いで予防に努めましょう！





みなさまのお住まいの地区に必ずある地域包括支援センター。いきいきサポートセンターの名称の方が知られていますでしょうか？

現在、藤沢市では 13 地区を基本として 18 か所の地域包括支援センターがあります。地域包括支援センターとは、高齢者の方々を支える、いわば「総合相談窓口」です！専門知識を持った職員が、ご高齢者の方々に住み慣れた地域で生活できるように相談に応じており、介護保険の申請も行っています。

地域包括支援センターでは、主任ケアマネージャー、社会福祉士、保健師などの専門職が中心となり、それぞれの専門性を活かしながら連携して業務を行っています。

2025 問題というのを聞いたことがありますか？国民の 3 人に 1 人が 65 歳以上、5 人に 1 人が 75 歳以上という、超・高齢化社会になると予想されています。そのような社会の中で、地域に暮らし続けていくには家族の力だけではなく、地域・社会の力が重要になってきます。その根幹を担うのが、地域包括ケアシステムと言われています。地域包括支援センターはその中心的役割を期待されている機関です。

もし、近隣の人やご自身の事やご両親のことなどで不安に思うことがありましたら、一度お近くの地域包括支援センターにご相談に行かれてみてはいかがでしょうか。



職員から※今号は、青木ケアマネ

こんにちは。ふらっと で介護保険の介護支援専門員（ケアマネージャー）を担当しております、青木 智彦と申します。ケアマネージャーとなって今年で 8 年目です。以前はホームヘルパーの仕事長くやっていました。

我々ケアマネージャーも含め、ふらっとのメンバーは皆「相談」をメインにした仕事をしています。ヘルパーとか施設のスタッフのよう直接利用者さんに触って行う仕事ではなく、利用者さんの話を聞いたり、他の支援者の方と仕事の調整をしたりするのが主な仕事です。なので直接会ったり電話を掛けたりして、とにかく人といっぱい話をします。特に体を動かしてなくても仕事が終わった後はドツと疲れます…。

でもそうやっていっぱい話をしていく中で利用者さんの困りごとを見つけたり、解決策を探ったりしています。色々な立場の方たちと仲良くなって繋がりを作り、支援のチームを築いていきます。

今後も地域の方たちのために「相談」の力を高められるようにガンバっていきます！！